

大友宗麟公 440 年御遠忌法要と墓前祭

日時 令和 8 年 5 月 23 日(土)=

法 要／自杵市諏訪紫野「樹林寺」・午前 10：00～

墓前祭／津久見市宗麟墓地公園・午前 11：00

史跡見学／臼杵市諏訪「清田姫の墓」12：20～

昼食会／「樹林寺」13：00～

平成 29 年 5 月の 430 回忌を第 1 回として今回で 9 回目。法要は本来数えで計算。よって数年前からその計算に基づき今年が 440 回忌というわけです。第 1 回目は顕彰会主催で初開催、ウオーキング協会の協賛を得て実施し 136 名の参加を見ました。

その後開催担当を臼杵支部がすることになり、法要は臼杵の樹林寺(主催)で、墓前祭(顕彰会主催)は津久見の墓地というふうに主催を分けました。

当日の参加は樹林寺参列者が 40 名、墓前供養には 35 名、延べ 75 名の参列者は過去最多(1 回を除く)。一昨年はフランスから帰国の際の一原さん、今回は大阪から下川さん、また手紙で宮城県の大友さんなど、松川副住職のインスタグラムの情報発信のおかげで認知度が広がってきました。

来賓として西岡臼杵市長、志村大分県議、広瀬教育委員会文化財課長。また津久見の墓前祭には、井戸川津久見市議、川野津久見市教育委員会生涯学習課長が参列しました。

昼食会が終わって樹林寺に送られたある家の古文書を見せてもらったが、下川さんがスマホの AI で古文書を解析、説明してもらった。100%ではありませんがその威力をまざまざと認識させられました。

なお、一連の行事全ては、大縁山樹林寺奉賛会 林 壯一朗 (NPO 法人大友氏顕彰会理事・臼杵支部長) が取り仕切りました。 報告者：理事長・若杉孝宏



